

ドラマ番組部門

三屋清左衛門残日録 三十年ぶりの再会

時代劇専門チャンネル(日本映画放送株式会社)

原作:藤沢周平「三屋清左衛門残日録」(文春文庫刊)
監督:山下智彦
主演:北大路欣也

東北の小藩で用人を務めた三屋清左衛門は、息子に家督を譲り隠居生活を始める。悠々自適な日々を思い描いていたものの、実際には得も知れぬ空白感に襲われる。清左衛門は、それを埋めるべく日記「残日録」を記すことに…。しかし寂寥の日々も束の間、清左衛門のもとには様々な事件が持ち込まれ、その解決に奔走する。親友の町奉行・佐伯熊太をはじめ、息子の嫁・里江や、小料理屋「涌井」の女将・みさたちと関わり、“隠居の身”を実感しながらも、日々の暮らしに真摯に向き合う清左衛門―。そんなある日、かつて通った中根道場の仲間を集めて三十年ぶりの旧交を温める。若かりし頃の話に花が咲き、楽しい一夜を過ごした清左衛門だったが…。



©2018時代劇専門チャンネル/BSフジ/東映 藤沢周平®

ドキュメンタリー番組部門

BS1スペシャル なぜ日本は焼き尽くされたのか
～米空軍幹部が語った“真相”～

NHK BS1(日本放送協会)

太平洋戦争末期、日本は全国60以上の都市を焼き尽くされ、わずかな期間で40万人もが犠牲となった。日本が敗色濃厚となる中、なぜ米軍は徹底した無差別空爆を続けたのか。

BS1の戦争特番の取材チームがアメリカ軍を取材中の去年4月、米軍施設で半世紀以上前の空軍幹部246人の肉声テープを発見した。そこに収められていたのは日本への空爆を計画し実行したカーチス・ルメイなど幹部の貴重な証言。軍内の記録用インタビューのため、彼らの野望や焦りなど本音が赤裸々に語られていた。発掘した証言記録や資料などを元に、日本への無差別爆撃がどのように実行されていくのか、その真相に迫り、戦争の恐ろしさの本質を見ていく。



中継番組部門

徹底マーク! ゴールキーパー
～2017 J1第7節「FC東京ー浦和」BS102ch データ連動中継～

NHK BS102ch(日本放送協会)

試合中「GKはボールに触れていない時間に何をしているのか」を解き明かそうとしました。普段はメインスタンドにベースカメラを置き、ボールの動きに合わせてピッチを切り取った映像を中継しています。そのためGKはゴール前のピンチのシーンしか映りません。そこで今回は画面を4分割。左上の画面ではゴール裏に置いたカメラでGKの動きを後ろから常に追いかけてきました。右上にはGKを正面から捉えた専用カメラの映像と専用マイクレベルの表示。左下にはGKの位置やDFとの連動をCGで可視化。右下には視聴者からのメッセージとGKのデータを表示しました。101chで通常のサッカー中継を行うと同時に思い切った画面構成で挑みました。



バラエティ番組部門

ザ・カセットテープ・ミュージック「A 面に入れたいサザンの名曲」

BS12 トウエルビ (ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社)

マキタスポーツと音楽評論家・スージー鈴木が、「80年代歌謡曲」の魅力を濃厚に語り尽くす。別名、「音楽好きおじさんの解放区番組」。

毎回テーマに沿い、「ベスト・カセットテープに入れたい曲」を二人が選曲。

A面には、誰もが聴いたあの曲を。

B面には、こっそり教えたいウラ名曲を。

今回は、カセットA 面に入れたい初期サザンのド定番曲をセレクト。

「勝手にシンドバッド」が日本ロック史にもたらした革命とは？

20代の桑田佳祐が作り出した、大衆性と実験性に満ちたメロディー。

「C 調言葉に御用心」「海」はなぜ名曲となった？

その秘密をコードからも分析。初期サザンの名曲を、改めて語ります！



©BS12 トウエルビ

教養番組部門

ドキュメンタリー ～The REAL～

女子ソフトボール ～2020からその先へ 世界一へのプロジェクト～

J SPORTS 3(株式会社ジェイ・スポーツ)

2008年北京オリンピックの金メダルに国中が歓喜しソフトボールは一気に注目を浴びた。その喜びから一転、オリンピック種目から外れ、再びマイナースポーツとして地道な活動を余儀なくされた。そんな中で、ジュニア世代から日の丸を背負うことの誇りと責任を持つことを重視して、日本ソフトボール協会は原石の発掘と育成、強化をスタート。ソフトボール界の未来を創る『GEMプロジェクト』を始動した。今回の密着では、同じ日の丸を背負う全世代が初めて沖縄に集結し合宿を行った。トップチームの上野選手・山田選手からの直接指導を必死に自分のものにしようと、上を目指すGEMプロジェクトの選手たちを追った。



アニメ番組部門

うたのじかん

アニマックス(株式会社アニマックスブロードキャスト・ジャパン)

「うたのじかん」シリーズは2分間のオリジナル楽曲と映像で制作された番組で、これまで8曲制作。

コアラモード、メロフロート、岩崎愛、新居昭乃、むぎ(猫)、吉田凜音など個性豊かなアーティストが参加している。子供達に向けて「冒険」、「るすばん」、「うんち」、「お母さんのごはん」などアーティストが2分という時間で子供達に伝わるテーマを選定し楽曲を制作、オリジナルアニメ化しました。何度も見たくなる、聞きたくなる作品になっています。

その中から「るすばん天国」をエントリー。留守番のワクワク・ドキドキ感、冒険心を楽曲にし、映像はアーティストのむぎ(猫)をアニメ化しました。



©2017 Animax Broadcast Japan Inc.

「第8回衛星放送協会オリジナル番組アワード」 オリジナル番組賞 最優秀賞

ミニ番組部門

映画の遺伝子「ヘイル、シーザー！」編

スターチャンネル1（株式会社スター・チャンネル）

映画の遺伝子：ヘイル、シーザー！ 編

2016年公開「ヘイル、シーザー！」は、コーエン兄弟が、ジョシュ・ブローリン、ジョージ・クルーニー、スカーレット・ヨハンソン、チャニング・テイタムら豪華スターを迎えて描く50年代のハリウッド界を描いた映画愛溢れるコメディ映画。本作の中に登場する「ハリウッド・テン」の面々や映画に出てくる数々のオマージュやモデルたち、そしてコーエン兄弟が描く「映画愛」を独自に紐解いた。スターチャンネルの関連放送作品と一緒に視聴意欲を掻き立てられるよう、プロモーションミニ番組として制作した。



「第8回衛星放送協会オリジナル番組アワード」 オリジナル編成企画賞

最優秀賞

世界の歴史ドラマ

チャンネル銀河（チャンネル銀河株式会社）

編成の3本柱のひとつ「歴史ドラマ」の枠をこれまでの日本・中国・韓国からトルコ、スペイン、ロシアなど欧米を含む“世界”に拡大し、年間編成として企画。

「クイーンメアリー」(仏)、「オスマン帝国外伝～愛と欲望のハレム～」(土)、「イサベル～波乱のスペイン女王」「フアナ～狂乱のスペイン女王～」「カルロス～聖なる帝国の覇者～」(西)、「エカテリーナ」(露)を24時以降に帯編成した。「クイーンメアリー」以外は日本初放送ということもありワーキング層の視聴を獲得し、どの番組もチャンネルの平均視聴率を上回る結果となった。

特にトルコドラマは地上波を含めて一切放送されることがなく、業界内外からの注目が集まった。各ドラマのローンチにあたっては、トルコ・スペイン・ロシア大使館や各国の文化交流団体の後援のもと、先行試写会イベント等を開催し積極的にPRを行った。



© Tims Productions

「第8回衛星放送協会オリジナル番組アワード」 審査委員特別賞

オリジナル編成企画賞

町山智浩の“最も危険なアメリカ映画”

スターチャンネル2（株式会社スター・チャンネル）

過激な言動が賛否両論を巻き起こしている第45代アメリカ合衆国・統領ドナルド・トランプ。なぜ彼が大統領になったのか？ そんな謎を解き明かす鍵はアメリカ映画に隠された深い闇の中にあつた！？

現在アメリカを拠点に活動する映画評論家、町山智浩氏が選ぶ“最も危険なアメリカ映画”9作品！トランプ現象を予見したような『ボブ★ロバーツ／陰謀が生んだ英雄』、歪曲された歴史劇『國民の創生』、マスメディアの闇を描く『群衆』など、映画史に残る名作、問題作（！？）揃いのラインナップを集めました。

さらにスターチャンネル独占！町山氏のインタビューを収めた特別番組も放送。そして、各作品放送前に町山氏自ら解説していただきます！

名作や傑作と呼ばれる映画の中に隠されたアメリカの深い闇とは...？

未ソフト化でなかなか見ることができない貴重な作品も含めた特集放送。



ドラマ番組部門

連続ドラマW プラージュ ～訳ありばかりのシェアハウス～

WOWOWプライム(株式会社WOWOW)

人気沸騰中の星野源が挑むのは、なんと、軽い気持ちで覚醒剤に手を出し「前科者」になった男…。舞台は、様々な過去を背負い居場所を失った者が集まるシェアハウス「プラージュ」。笑顔の裏で色々な哀しみや痛みが交錯します。不器用ながらも懸命に生きようとする住人たちに、過去からの逃れられない黒い影が忍び寄り…。

原作は人気作家・菅田哲也。一度でも刑罰を受けた人は刑期を終えればかつてのように生きて良いのか、それとも世間の片隅で暮らすしかないのか。社会から一度退場させられた人間たちが小さな力をあわせて立ち上がる姿が観る者に真の償いと赦しの意味を優しく問いかける、涙とユーモアに溢れたエンターテインメントミステリー。



©WOWOW

ドキュメンタリー番組部門

棋士・藤井聡太～取材ノート～

囲碁・将棋チャンネル(株式会社囲碁将棋チャンネル)

16年ぶりとなる中学生棋士、そしてデビュー戦が加藤一二三九段との年齢差62歳で注目された藤井聡太四段(当時)。囲碁・将棋チャンネルでは、そのデビュー前である藤井四段の奨励会時代からおよそ1年にわたって取材をしてきた。

始まりは2016年4月に「詰将棋が強い13歳の奨励会員」がいると聞き、取材に行ったこと。ここから1年も経たずに日本中の大きな注目を集めることになる。前人未到の29連勝達成の瞬間までを綴った藤井聡太四段の貴重な期間の記録とともに、師匠の杉本昌隆七段、ご家族へのインタビューから見えてきた藤井四段の普段の姿や、対局中には見せない様々な表情を余すことなく放送した。



©囲碁・将棋チャンネル